

世界遺産一覧表記載資産の保全状況の概要について
(この一年間に保全状況に関連して大きな動きのあったもの)

平成 26 年 4 月 25 日
文化庁記念物課

【原爆ドーム】

○ 耐震対策について

- ・ 平成 25 年度に実施した調査（コア抜き等）の結果により、耐震対策の必要性が確認された。
- ・ 今年度から 2 カ年をかけ、耐震対策の実施設計、仮設足場の設置、健全度調査、及び一部補修工事及び耐震対策工事を実施する予定。

【古都奈良の文化財】

○ 包括的保存管理計画の策定について

- ・ 平城宮の保全状況については、第 35 回世界遺産委員会（平成 23 年）における決議に基づく回答を平成 25 年 3 月に世界遺産委員会に提出した際に、文化庁・奈良県・奈良市及び関係機関が協力して平成 27 年 1 月までに包括的保存管理計画を策定することを表明していた。これを受け、奈良市において「世界遺産『古都奈良の文化財』包括的保存管理計画策定アドバイザー会議」を設置し、計画策定に向けた作業が行われている。

○ 若草山におけるモノレールの設置検討について

- ・ 若草山（名勝奈良公園指定地内且つ世界遺産緩衝地帯内）におけるモノレールの設置が奈良県において検討されていたところ、文化庁から奈良県に対し、景観への負の影響が生じることがないように慎重に対応すべきである旨伝達した。
- ・ 上記の旨とあわせ、文化庁としては、名勝としての価値の保全に支障がないよう適切に対応していく旨を本年3月にユネスコ世界遺産センターに報告した。

【紀伊山地の霊場と参詣道】

○平成 23 年 9 月の台風 12 号の被害に対する復旧状況について

- ・ 平成 23 年 9 月の台風による被害については、被害が発生した直後（同年 10 月）に、日本国政府よりユネスコ世界遺産センターに対し、資産全体の OUV に大きな影響は与えていないものの個別の構成資産の状況については詳細に調査をしてから再度報告する旨報告した。
- ・ 現在復旧作業が行われている構成資産は以下の通り。
 - 三重県
 - ◇ 御船島：樹木等の回復途上
 - ◇ 伊勢路・横垣峠道：構成資産範囲は工事完了。周辺の治山工事については、今後 2 カ年度程度を要する見込み。
 - 和歌山県
 - ◇ 中辺路・三越峠：周囲の関連工事終了後、平成 27 年度に構成資産部分の復旧工事を行う予定。
 - 奈良県
 - ◇ 小辺路・大股～伯母子峠間：現在クラック観測中。拡大傾向がなければ、平成 27 年度以降に補修予定。
 - ◇ 小辺路・上西家跡：小規模クラックを今年度補修予定。

○熊野川の濁水について

- ・ 平成 23 年 9 月の台風 12 号以来、大雨等による濁水が顕著（透明度の復旧に時間を要するなど）になっており、その対策を求める新宮市及び紀宝町による意見書が関係大臣（内閣官房長官、文部科学大臣、農林水産大臣、経済産業大臣、国土交通大臣、環境大臣）宛てに提出されている。
- ・ 具体的な対策としては、電源開発株式会社が管理するダム等の運用改善などが行われている。文化庁としては、当面、現状把握に努めることとしている。

【富士山-信仰の対象と芸術の源泉】

○ 第 37 回世界遺産委員会（平成 25 年）における決議への対応について

- ・ 3月26日に開催された第4回富士山世界文化遺産協議会において、上記決議で求められている保全状況報告書に含むべきとされる「全体構想（ヴィジョン）」や来訪者管理等の各戦略の方向性が決定された。
- ・ 今後、この方向性に基づき、本年12月までに、富士山世界文化遺産協議会において、「全体構想（ヴィジョン）」及び各戦略を策定・採択する予定。
- ・ それを受け、平成28年2月までに保全状況報告書をユネスコに提出することになる。

○ 「美しい富士山を創り守る議員の会」（通称：富士山議連）の設立について

- ・ 3月19日に「美しい富士山を創り守る議員の会」（通称「富士山議連」）（自由民主党の両県選出議員等により構成）が設立され、活動目的として「富士山包括的保存管理計画」の改定等に向けて、特に国の立場で施策実現のために必要な支援活動を推進することが決定された。また、文化庁及び有識者から富士山を取り巻く現状と今後の対応に関し説明が行われた。
- ・ 4月16日に開催された第2回総会では、富士山の世界文化遺産の価値と登録の意義に関し、有識者による講演と質疑応答が行われた。